

## 出張版おさかなアート展 ～魚の剥製と骨格標本の世界～

池端 伸悟・力石 眞弘

### おさかなの剥製の作り方

剥製とは、

動物の皮を剥がして防腐処理を施し、取り除いた内臓などの代わりに詰め物をし、生きていたときの外形に近い状態で保存する動物標本技術の一種。生きた状態の姿を再現、長期保存することを目的とし、展示、鑑賞用に用いられる。



まずは、魚を用意する。

#### 皮を剥ぐ・除肉



所要時間：約6時間

魚の皮を破らないように、筋肉・内臓・骨を取り除く。

#### 義眼の着色

所要時間：約2時間

剥製用の義眼を用いる。



#### 芯材の削り出し



材料：発泡ウレタン

所要時間：約3時間

魚の形になるように発泡ウレタンを削り出す。魚の皮をびったり被せられるように丁寧に削り出す。

#### 仕上げ



材料：アクリル絵の具等

所要時間：約20時間

魚の皮を芯材に被せ、義眼を装着し、形を整える。アクリル絵の具を使って、大まかな塗装はエアブラシで、細かな模様は筆で塗る。色塗りが完了したら、ウレタンでコーティングする。



完成

### おさかなの骨格標本の作り方

標本とは、

生物体の全部、あるいは一部を保存可能な状態にしたもの。

骨格標本とは、

動物の骨格のみからなる標本。

筋肉・内臓等を物理的・化学的・生物学的に除去したもの。



まずは、魚を用意する。

全身骨格にチャレンジするなら、全身を用意する。

#### 除肉



材料：ピンセット、歯間ブラシ、入れ歯洗浄剤等

魚を茹でて、肉を取り除く。神経や脳は歯間ブラシを用いて丁寧に取り除く。取り除けなかった組織は、入れ歯洗浄剤に浸けて除去する。

#### 脱脂

材料：除光液

除光液に浸けて、骨の中の脂肪を取り除く。

#### 組立て・整形

材料：瞬間接着剤

所要時間：約1時間

バラバラになった骨を組み立てる。  
※組み立てる過程は、以下のQRコードのリンク先の動画で確認できます。

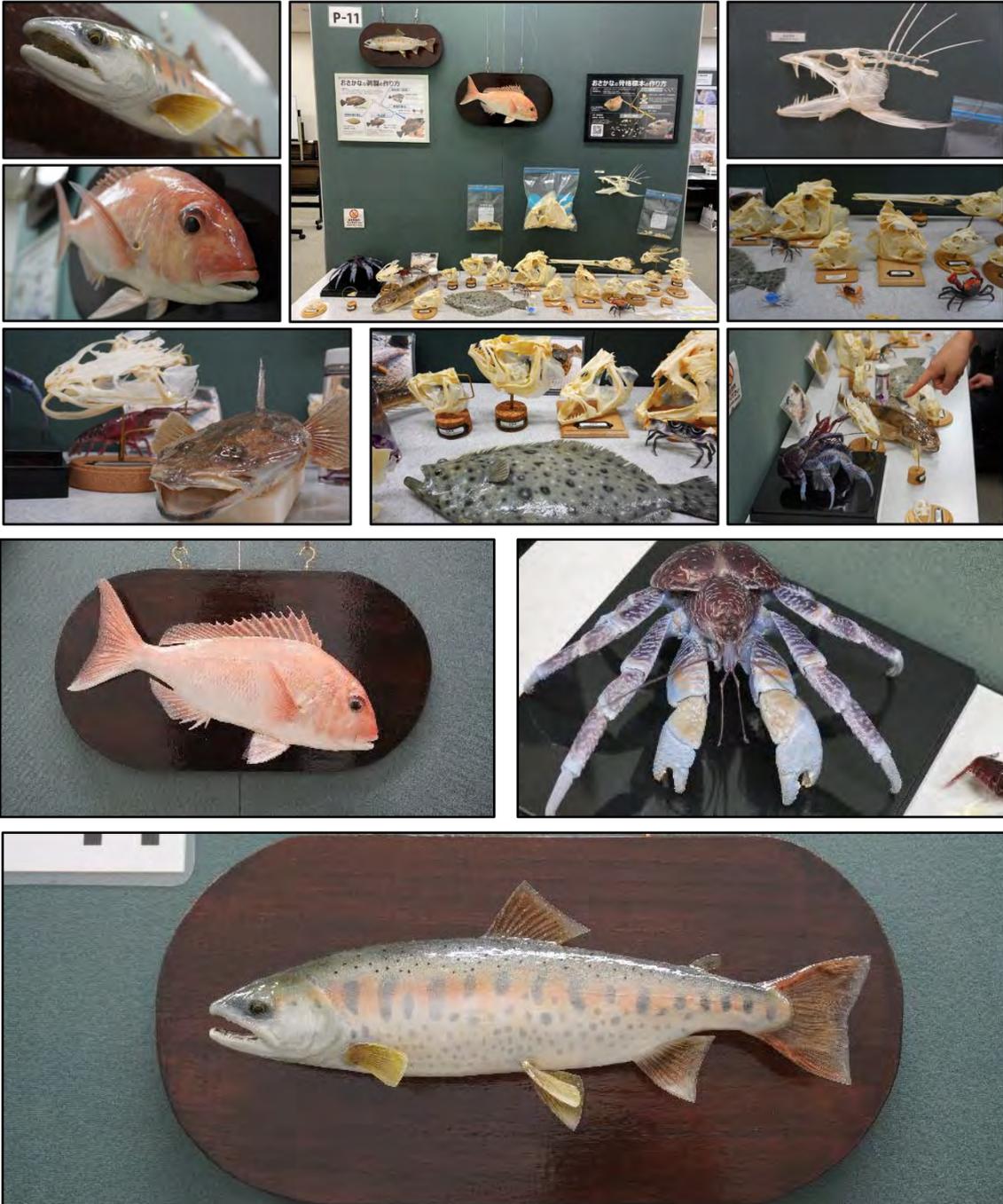


動画時間2:38



完成

【当日の展示の様子】



製作者プロフィール

剥製担当  
カ石 真弘

魚・甲殻類専門の剥製師です。まだまだ知名度の低い剥製の世界を多くの方に知っていただけるように、Twitterやホームページにて、作品や制作工程などの情報を発信しています。制作依頼はDMもしくはホームページより承ります。



骨格標本担当  
池端 伸悟

趣味で魚の骨格標本作製しています。ネット上に資料が少なく、初めて作ったときに苦労したので、YouTubeに骨格標本の作り方の解説動画をアップロードしています。是非ご覧ください。

